



紙面から

- お知らせ
保留地・市有地を売り出します………2
- お知らせ
東日本大震災に伴う施設の利用………4
について
- お知らせ
第3次行財政改革大綱・実施計………8
画の実施結果概要公表
- 特集
高齢者向けサービスを紹介………特集号

自治に親しみ 自治を楽しむ～「公民協働」のまちづくりをさらに深める 平成23年度予算を公表

平成23年度は、厳しい財政環境の中で身の丈にあった財政運営を基本とし、将来を見据えた中・長期的な視点により、「次世代に負担を残さない財政運営」を実現していくための予算編成としました。

図財政課

総額997億9,536万円
(前年度比6.8%増)

一般会計
534億8,000万円
(前年度比7.0%増)

特別会計
463億1,536万円
(前年度比6.5%増)

歳出額を市民1人あたりに換算すると…
1人あたり30万833円

民生費 14万725円
高齢者や障害者に対する社会福祉、児童福祉や生活保護のための費用

教育費 4万981円
小・中学校教育、社会教育、市民会館、公民館活動などの費用

総務費 2万9,716円
庁舎管理、徴税、統計、選挙事務や戸籍、住民登録などに必要な費用

衛生費 2万5,903円
ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用

土木費 2万6,250円
道路の新設・維持管理や公園整備、市営住宅の維持管理などの費用

公債費 1万8,698円
市債(市の借り入れたお金)の返済のための費用

消防費 1万1,964円
消防活動、災害対策などの費用

その他 6,596円
市議会運営、労働、農業、商工振興などのための費用

※歳出額は一般会計のもの
※市民1人当たりの金額は平成23年4月1日現在の人口177,773人(外国人を含む)で算出

平成23年度予算のポイント

- 削減・抑制が困難な経費の増加
景気低迷を受け、生活保護費などの法的扶助費が大幅に増加しています。
- 市民税の伸び悩み
法人市民税は一部回復しているものの、個人市民税は低迷が予測されます。
- 平成22年度に続き「普通交付税・交付団体」
前年度に引き続き交付団体となる見込みのため、当初予算に普通交付税を計上しています。
- 新規事業を重点的に実施
子育て支援策を実施し、安心して働ける状況を確認します。生活基盤整備を積極的に実施し、地域経済の活性化を図ります。公共施設のあり方を検討し、更新計画を策定します。前年度からの継続事業を確実に実施します。
- 市債残高の抑制
「返す以上に借らない」を基本に、将来に負担を残さないようにします。

1 参画と協働のまち ……4億2,073万円

- 第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)開催に向けた準備…日野市ではホッケー、ボクシング、空手道を開催
- 「芸術文化の薫るまち」事業
- ふだん着でCO₂をへらそう宣言事業

2 子どもが輝くまち ……13億8,601万円

- 保育園待機児ゼロを目指し、民間保育園2園を開設、1園で定員拡大(開設:日野駅前かわせみ保育園・第二暁愛児園、定員拡大:栄光平山台保育園)
- 一中・二中・三中プロジェクト(放課後補習授業、部活動の活性化など)
- 小・中学校普通教室に冷房機を設置(平成23年度は最上階を予定)

3 健やかでともに支えあうまち ……20億2,693万円

- (仮称)発達支援センター事業先行実施(相談事業やスキルトレーニングなど)
- (仮称)市民の森ふれあいホール建設・開設
- 栄町二丁目複合福祉施設で小規模多機能型居宅介護事業、精神障害者就労等支援事業を開始
- 自殺対策推進条例に基づく基本計画の策定
- ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防ワクチン公費接種費用助成の実施

4 安全で安心して暮らせるまち ……24億1,973万円

- 公共施設の計画的な更新(道路施設の計画的な更新、下水道長寿命化計画策定)
- 買い物弱者への支援(モデル地域宅配サービス事業など)
- 「ものづくりのまち」工業振興基本構想の策定
- 市立病院改革プランの推進

人類は環境に恵まれ幾多の文明を創り上げてきた。でも過去の文明は、自然の森を破壊し、結局滅びて行った。繁栄の後は砂漠か廃墟となっている。私たちの近代文明も危うい。スケールは桁違いだ。発展のスピードも速すぎる。このままではまた滅びてしまう。近代文明を根本的に見直す時が来ている。が、希望は捨てない、と。「災い転じて福となす」と言います。未曾有の大震災を日本の復興と共に、現代文明を創り直すきっかけにしたい。ポイントはエコライフとセットバック。少し不使でも自然のリズムに合った日常生活を取り戻しましょう。今日から一人ひとりが行動を始めたいと思います。

「国難」への独り言です。

東日本大震災は「国難」の様相です。マグニチュード9という強烈なエネルギー。広い震災範囲と津波被害の甚大さ。何より十数万人に及ぶ被災者数など、日本史に残る大災害になりそうです。およそ千百年前の平安時代、巨大な地震や大津波が続きました。特に「貞観地震の大津波」では多数の犠牲者が記録されています。今回の大震災はこの9世紀の状況に類似しているらしい。想定外の規模であり、千年に一度の事態だと言われます。さらに今回の地震では原子炉損壊による放射能汚染が加わり、文明災害の様相まで呈しています。ちよと、ジャレド・ダイアモンド博士の名著「銃・病原菌・鉄」および「文明崩壊」を読んでいるところでした。

「国難」をこえて
日野市長 ひろみち
馬場 弘 社

ふだん着でCO₂をへらそう～宣言世帯23,909世帯、2,169事業所(4月15日現在)